

# 「ひまわりの会」だより

第1号

2018年5月

2017年10月27日（金）に、第7回ひまわりの会総会が開催されました。

今回は、大阪母子医療センターの認定遺伝カウンセラー、松田圭子先生が手弁当で参加してくださいました。

「遺伝カウンセリング～何のために、何を考えるの?～」と題して、特別講演をしていただきました。



## 「がん」をみただけではわからない

- 大腸がん全体の2～4%がリンチ症候群と言われている。
- 発症したがんを見ただけでは、一般のがんなのかリンチ症候群よるがんなのかは、わからない！
- 遺伝子変異を持っていても、一生がんを発症しない方もいる！
- 自分の家系のがんが、遺伝性なのかどうか？ そうだとしたら、家系内の誰がアットリスクか？等を検討するために、家系図は有効です。

リンチ症候群2～4%  
赤はがん未発症者

大腸がん  
罹患者

松田圭子先生の特別公演より

松田圭子先生の講演を聞いて、ある患者さんから感想いただきました。

松田先生の講演を聞いて、遺伝性のがんについてとてもわかりやすく話をされ、自分の病気を心から納得して受けとめることが出来た様に思います。

私達のように生まれつき病気にかかわる遺伝子の変化を持つことは特別なのか？と自分の病気をずっと悲観して、これまで生きてきましたが、どんな人でも生まれつきの遺伝子の変化を70～100個程度持っていることを聞いて少し心が軽くなりました。